

杉並区教育ビジョン2022（概要版）

みんなのしあわせを創る杉並の教育

教育委員会では、令和4年度（2022年度）から概ね10年程度を期間とし、私たちが大切にしたい教育として「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を掲げた「杉並区教育ビジョン2022」を策定しました。

「教育ビジョン2022」は、「人生100年時代」を、区民誰もが学びを通して自分らしく豊かに生きるためのよりどころとなるよう、杉並の教育の基本的な考え方を示したものです。また、教育基本法第17条第2項の規定に基づく杉並区の教育振興基本計画として位置付けています。

Q あなたが望む10年後のまちが実現するために、
あなたができることやがんばろうと思うことは何ですか

みんなに
やさしくする
(小1)

みんなと
話し合う
(小2)

地域の方々と
交流する (小5)

もっと
このまちについて
知る (小6)

困っている人を
見つけたら助ける
(小4)

自然を大切に
していきたい
(小5)

ありがとう
という (小5)

～区民アンケート結果より～

「教育ビジョン2022」の策定にあたっては、区民アンケートやこれからの杉並の教育を考えるシンポジウムを実施し、多くの区民、特に子どもたちの声を聴き取りました。

教育を取り巻く環境の変化

少子高齢化の急速な進展、
人々の価値観や生活の多様化、
「人生100年時代」、AI、気候変動
など

課題への国際的な取組
国連「誰一人取り残さない」
「持続可能な開発目標（SDGs）」

これらの課題を
自分ごととして受け止めるために



学び合い、支え合う教育を通して、
社会を創り、担う当事者となることが
求められています

策定にあたっての基本的な考え方

教育ビジョン
2012
「共に学び共に支え
共に創る杉並の教育」
の理念

尊厳の尊重
多様性
社会的共生
さまざまな権利
SDGsの考え方

今日のような社会の転換期にあっては
・明確な将来像を描くことは困難
・変化や脅威、時代の要請にしなやかに
対応していくことが大切

教育ビジョン2022
みんなのしあわせを創る杉並の教育

杉並区教育ビジョン2022

～区民と区にとっての杉並の教育の基本的な考え方～

私たちが大切にしたい教育

みんなのしあわせを創る 杉並の教育

『みんなが共に教育を創る』=子どもも大人もすべての人が教育の当事者

共に尊重し、大切にしたいこと

学び合い、信頼をつくり、
共に生きる

ちがいを認め合い、
自分らしく生きる

誰もが社会の
創り手として生きる

一人ひとりが教育の当事者として心がける視点

1

子どもの
思いを
尊重する

2

ちがいを
受け
入れる

3

対話を
大切に
する

4

学びの
成果を
贈り合う

5

社会を創る
当事者として
考える

学び合い

教え合い

かかわり合う

教育行政の取組の方向性

「人生100年時代」を
自分らしく
いきいきと生きるための
学びを支援する

学びを通して
誰一人取り残されない
社会を実現するための
条件と環境を整える

教育の当事者が増え、
学びの成果の
贈り合いが広がるよう
支援する



誰もが自分らしく生きることを大切にしながら、
将来を見通しにくい社会の中で、みんなのしあわせ
を創るためには、一人ひとりが当事者として共に
認め合いながら、協力して社会を創り、担うこと、
そして、それを支える教育が大切です。

そのためには、誰もが等しく学びの機会を得ら
れる「すべての人に教育を」という基礎の上に、共
に学び合い、教え合い、かかわり合って、新たな
価値を創り出していくための「みんなが共に教育を
創る」という考え方が欠かせません。

「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を豊かに
育て続けるために、子どもも大人もすべての人が、
生涯にわたって、学び合い、教え合い、かかわり
合う教育の当事者として、この5つの視点を日常
的に心がけることが大切です。



誰もが自分らしく生きることができ
る
「みんなが創るまち」の実現につなげていきます。

「杉並区教育ビジョン2022」本文は
杉並区教育委員会ホームページへ
<https://www.city.suginami.tokyo.jp/kyouiku/>



「教育ビジョン2022」に込められた想い

策定にあたっては、区民アンケートやシンポジウムにおいて寄せられた多くの声、そして活発に行われた杉並区教育振興基本計画審議会の議論がありました。

こうした多くの声や活発な議論ができたのは、これまで取り組んできた「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」の成果であり、それが「教育ビジョン2022」として結集したものと考えています。

しあわせ、って何なのでしょう。誰もがしあわせに生きたいと願っているはず。でも、しあわせは、人それぞれ違って、他人が決めることではありません。それでも、「教育ビジョン2022」は、このしあわせをみんなのしあわせと受け止めて、それを創る教育を打ち出しました。

それは、「共生」を考えることと結びついています。共に生きる、のではなくて、生きるを共にする、こう考えるのです。そうすると、子どもも大人も、誰もがみんなのしあわせを自分のしあわせと切り離せないものと受け止め、それを生きることができるようになります。

その時どうしても譲ってはならない価値が、生命と尊厳そして人権です。それをみんなが認め合い、守ることで、子どもたちの不思議に思う感性（センス・オブ・ワンダー）が新しい価値の探究へと導かれ、子どもたちは安心して、言葉を発し、対話し、みんなと共に新しい価値をつくり続けることができるようになります。それは、大人も同じです。

私たちは、誰もがしあわせになるためにこそ、教育はみんなが認め合い、受け入れ合う関係の中で、一人ひとりの手によってなされなければならない、みんなの営みだと考えました。それが、「共に」を乗り越える「みんなの」という言葉に込められた意味です。

この「教育ビジョン2022」は目標ではありません。それは、皆さん一人ひとりのしあわせをみんなで創るためのよりどころなのです。このビジョンを手にとって、皆さん自身が新しい杉並の教育を創ってくださることを願っています。



杉並区教育振興基本計画
審議会会長

牧野 篤



杉並区教育委員会
教育長

白石 高士

「教育ビジョン2022」の策定は、「子どもを中心に据えて、教育にかかわる大人も子どももすべての人々、一人ひとりが主役となる教育ビジョンにしよう」というところから始まりました。教育委員会では、この10年、家庭・地域・学校（園）の協力のもと、誰もが当事者として教育にかかわる環境づくりを進めてきました。これまでの「教育ビジョン2012」を人々の力を合わせていく、いわばたし算のビジョンとすると、今回策定した「教育ビジョン2022」は、これまで築いてきた杉並の教育を土台として、一人ひとりが学んだ成果を他者と贈り合いながら、人と人とのつながりが二次元的に、多面的に広がっていく、かけ算のビジョンであると私は考えています。

今回のビジョンでは、「しあわせ」という大切な価値を置いています。

人は、自分が描いた夢や目標に向かって努力し続けたり、誰かの役に立っていることを実感したりすることなどによって、生きがいを感じ、そうした過程そのものが一人ひとりのしあわせとつながっています。このような想いを込めて「教育ビジョン2022」をつくり上げてきました。

誰もが自分らしく生きることを大切にしながら、「教育ビジョン2022」を共有し、「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を実践していきましょう。

杉並区教育ビジョン2022（概要版）

令和4年（2022年）3月発行

編集・発行 杉並区教育委員会事務局庶務課
〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号
TEL (03) 3312-2111（代表）